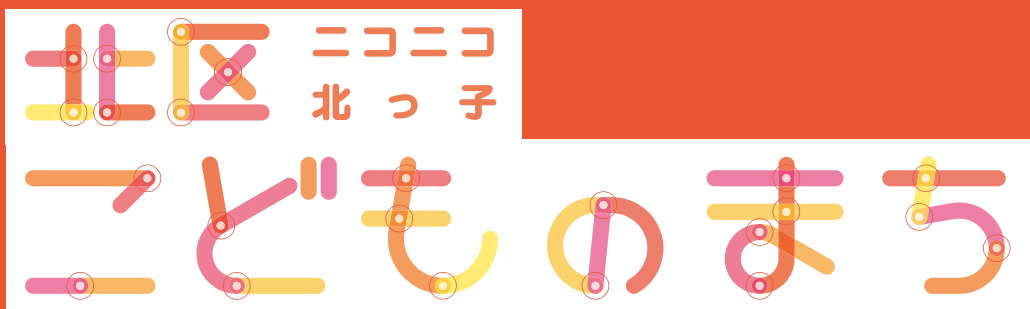




報 告 書

北区こどものまち



北区こどものまち 報告書

もくじ

北区こどものまち 1日目	2
北区こどものまち 2日目	8
こども会議通信 Vol.01	12
こども会議通信 Vol.02	14
こども会議通信 Vol.03	16
こども会議通信 Vol.04	18
こども会議通信 Vol.05	20
こども会議通信 Vol.06	22
こどものまちのいろいろ	24

こどものまち 1日目



オープニングセレモニー
11時には、まちをオープンしなければなりません。子どもたちは大慌てで、作業を進めます。
11時、まちのオープニングセレモニーの時間です。一斉に店の看板を立て、子どもスタッフも当日参加の子どもたち、みんなが揃って、まちの区長から1日のおもてなし方や遊び方を、きかひついでの説明がありました。そして最後に「こどものまちはみんなで仕事したり遊んだりできるまちです。みんなが楽しくできるように頑張るまじょう。」この力強いメッセージがありました。いよいよオープニングカットの時間が、やってきました。みんなが見守る中、テープが切られ、2日間、まちのオープニングセレモニーがスタートしました。



長い行列の先に
受付時間よりも前に、当日参加する子どもたちの長蛇の列が大谷大学の4号館にできていました。早くこどものまちに入りたいと、仕方ない様子…。受付を少し早く始めることになりました。受付を終えた子どもたちはいよいよ、まちの住民に变身です。



静寂ではない朝
まだ、住民のいない「こどものまち」に、徐々に子どもスタッフが集まり始めました。やってきた子どもたちは、看板がセットされたお店に、装飾を加えたり、売るものの最終確認をしたり、間に合っただけだった準備を行なったりと、大忙し！ドキドキ・ワクワクのまちが始まります。





1日目の終わり
みんなが楽しんで熱気に溢れたま
ちの余韻を残したまま、「こども」のま
ちの1日目が終わりました。
当日参加の子どもたちが帰った
後、明日への改善や反省点をこ
もスタッフのみんな考えて、お
開きとなりました。2日目はさら
に進化したまちを見学し、いになり
そうです。今から楽しみです！



「こども」のまちが始まってしばらく
すると、「こども」区役所が開催したイ
ベントを楽しむ子どもたちやお店で
働く子どもたち等で徐々に「まち」が
動き始めてきました。中には、商品
が売れずに困る店員さんの姿もあり
ましたが、200名を超える子どもたち
が、自分たちのまちでいきいきと楽
しんでいました。



お仕事探し
「こども」のまちが始まって、すぐ
にハローワークに行列ができた。
それぞれ自分のやりたい仕事
をするため並んでいます。
「こども」のまちの入る時に、100
ド
キを貰っていても、まずは、仕事
をしてお金を稼ごうという子。こ
もものまちには、堅実な子どもたち
が多いようです。

レポート
「お化け屋敷」

まちが徐々に、動き始めたお昼過ぎのお
化け屋敷の様子です。今までに、20-30
人のお客さんが来て、遊んでくれました！
店員さんからは、「お化け屋敷のネタば
らしをする人がいたので、ルール説明を徹
底した」とのこと。試行錯誤する中でも、
「お客さんの驚く顔が見れたときは嬉し
かった」と喜んだ表情が印象的でした。
次に、お化け屋敷から出てきたお客さん
に話を聞いてみました。「掃除機の声がブ
イーンと鳴って面白かった。」や「へろへ
ろのお面の顔が面白かった。」「ピエロ
のお面の顔があるところで、可愛い声が聞
こえてきて楽しかった。」 などなど・・・
楽しい感想を言ってくれた彼女達は「何回
行っても掃除機の声が楽しい」と言って、
インタビューの後も、またお化け屋敷に並
んでいました。





1日目を終えての おみせのこえ

しゅげい屋

「呼び込みしている時にお客さんが通り過ぎてしまつことが、つらかった。また、売り物は手作りが多いので、商品の数が追いついてなかつたりしていたため、明日は商品をたくさん作る。」



ウインターショップ

「思った以上に商品が売れたことで、商品の準備が追いつかなくなつたことや、アルバイトが来て、ものをやってもうちの役割分担が前もってできていなかったことが今日の反省点。それを踏まえた上で、明日は商品を多めに置き、前もって準備をしつかりたい。」



えいが & だがし

「商品がたくさん売れて嬉しかった。イベントに人がいっぱい来てくれて嬉しかった。」
「明日も今日みたいにイベントを頑張りたい！」



あそび場

「お客さんがいっぱい来てくれて忙しかった。接客に慣れて楽しかった。明日は今日よりもお客さん呼びたい。」



ヘアアレンジ&カフェ

「最初はあまりお客さんを呼べなかったけど、時間が経つにつれて来てくれてうれしかった。」
「去年はバイトだったけど今年は店長をやってみて大変さがわかった。明日は今日よりもお客さんを増やしたい。」



ヒーロの館(お化け屋敷)

「大変だったのは、お客さんがたくさん来て、お化け役などバイトやスタッフだけでは回らなかったこと。でも、いろんなお客さんが驚いていて、悲鳴など聞けたことにやりがいを感じた。」



区役所

「人がいっぱい来てくれて嬉しかった。借金をしているお店が、どうすれば売れるのかを提案するのが難しかった。明日は区役所のイベントをもっと増やしたい。」



kids文庫(しんぶん)

「なかなか売れなくて大変だった。控室にいる大人にも売りにいった。」
「アルバイトさんにも新聞を書いてもらった。」
「明日は新聞の量を増やすのと、マンガをもう少しオススメする。」



税務署

「税金をとりに行くから少し嫌がられて、悲しい気持ちになった。また、お金が払えない店が少しあつて集めるのが大変だった。」



ハローワーク

「当日参加者の人に仕事を提供していたが、その中でも星占いやカフェのアルバイトをしたい人が多かった。」
「午前中が一番忙しく、店長が2人だけしかいないため大変だった。午後に少し休憩ができたけれど、お店に戻ってくると人がいっぱいだった。」



こどものまち 2日目

開店準備

店長の朝は大忙し。みんなよりも早く来て、仲卸屋さんの「おとなファクトリー」で素材を仕入れます。前日の取り寄せ商品が届いているか、店頭に新しいものがないか、みんなじっくりと確認していきます。



ルールのやりとぎ

今回は前日の前日、こども区長がまちの過ごし方やルールについて、参加者の子どもたちに説明します。今日は2日目というこども1日目よりもパワーアップしたまちになりそうです。



安心安全のこどものまち

こどものまちの治安を守るのは、大人ではなく、「こども警察」。落とし物や人探しなど様々なトラブルに対応し、まち全体のパトロールを欠かしません。まちの感想ボードには「落とし物」を見つけてくれてありがとう！落とし物に名前が書いてなくても見つかるってすごい☆」とこども警察への感謝のコメントが書かれていました。



レポート

「ハローワーク」

去年のまちで出来てしまった職探しの長蛇の列を解消するため、こども会議から、スムーズに仕事を紹介する仕組みを考えてきたハローワーク。ハローワークに並んでいる子どもたちに、「お仕事の記録をする区民証を出しておいてください。」「働きたい場所を決めておいてください。」「積極的に声をかけながら順序よく進めていました。」

去年と同じく、働きたい子どもたちはたくさんいて、列ができることもありましたが、ハローワークの店長さんも「忙しけれど、まちには絶対必要なお店だから頑張る!」と大変ながらもやりがいを感じているようでした。



レポート

「kids文庫(しんぶん)」

1日目は思ったように新聞が売れず、思わず泣いてしまった店長さん。売り上げがのびなやむ中で、どうしたらもっと手にとってもらえるか、大学生と一緒に考えました。その結果、まず紙面を見直すことにしました。まちの中で起こった出来事を書くだけでなく、クイズコーナーやダジャレコーナーをつかって読者が楽しめる工夫をすることになりました。

また、子どもだけでなく、保護者に向けても新聞の販売を始めることにしました! 店長自ら保護者控室へ向かい、売り込みをします。最初は勇気が出ず、恥ずかしそうにしていたが、何部が売れると自信が出てきたのか積極的に話しかけ、2日目はなんと黒字に! 店長さんも1日目とはうってかわり、とびきりの笑顔で2日間をしめくることができました。





大人顔負けの子どもたち

まちの中で、扱う商品やサービスによって儲かるお店、儲からないお店が生まれるのは世の常。こどものまちでも同じです。でも、現実のまちと違うのは、どうやってそのお店をフォローするか、みんなでアイデアを出し合います。例えば、そのお店で扱っている商品を、区役所で主催するイベントの景品にしてみたり。人を誘導するためのアイデアが子どもたちから出てくるんです。



新しい商売も始まりました♪

今年のまちでは、区役所で許可をもらって出店料を払えば、新しい商売を始めることができました。実際におとなファクトリーで素材を仕入れてお店を始める子どもがたくさん！マジックをしてみたり、毛糸で小物を作ってみたり、自分なりの商品を作って楽しんでしました。あるお店では、儲かった利益の配分で揉めていたり、こどものまちでは、いろんなシーンを楽しむことができます。



楽しい「まち」も終わりへ
15時45分、こどものまち終わりの会では、子どもだけでなく、運営を支えてくれた大学生や保護者も集まって、こども会議やこどものまち当日の様子をまとめた動画を見ていきます。そして、最後にはおなじみの「えいえいおー」のポーズで集合写真を撮り、2日間の楽しいまちは終了です。

こども会議通信

Vol.01
2018.12.17

こどものまち、始まりました。

12月2日（日）今年度初のこども会議が開催されました！

参加した子どもは約40名。今回は初参加の子もいましたが、中には3年連続で参加しているベテランの子どもたちも。今回は、「みんなと仲良くなること」「こどものまちなイメージをつかむこと」を目標にこども会議を進めました。



初対面の子ども同士でも、ゲームで会話が弾む

▼緊張をほぐすゲーム

まず会議の最初は、みんなの緊張をほぐすためのゲームをしました！手拍子の数と同じ人数でグループをつくる「手遊びゲーム」や、知らない人同士が名前を覚え合える「となりとなりゲーム」など。ゲームをするにつれて子どもたちも笑顔になり、仲良くなるきっかけづくりができました。

▼ワーク1…お店を考える

ゲームで仲を深めた後は、今日のメイン「お店を考えるワーク」をしました。子ども同士でペアをつくり、お互いの「好きなこと」「やってみたいこと」をかけ合わせて、どんなお店ができるかを考



自分の好きなことをいっぱい書きだします。

えました。1回目は「好きなこと」が似ているもの同士で、2回目は違うもの同士でペアを作り、お店のアイデアを出し合いました。カフェやアクセサリー屋など定番の人気店もあれば、星占いのお店、ようかん専門店など変わり種のお店も生まれました。

▼ワーク2…コンセプトを考える

会議の最後には、全員で円になりまちなコンセプトを考えました。



まちについての意見が飛び交う

▼次回に向けて

第2回こども会議は、12月22日（土）に北区役所で開催します。お店を考え、それぞれのお店店长を決めていきます。

「自由学校」

「作りたいお店は『自由学校』です！」

女の子2人が元気よく発表してくれたのは、「自由学校」というワード。絵を描くことが好き、そろばんが得意と、それぞれの得意分野から発展してお仕事として考えたのは、参加する人が好きなことや得意なことを発表して、褒め合ったり、教え合ったりすることができ場所「学校。時には、得意なことが同じ人が集まり、ゲームをして競争してみたり。そんな風に集まった人同士で自由に教え合ったり、競い合ったりできる学校を「こどものまち」に作りたい！と2人は考えていました。単に教えてもらうことだけではなく、そこに集まった人同士のコミュニケーションからまた違った学びができる学校が、こどものまちに開校するかもしれません。これからどんなお店ができて、どんなまちになっていくのか今からワクワクドキドキです！

text 一みのり

カイギのカギ

「職業は、神様!？」

アイデアを出すには少しのひらめきが必要です。北区こどものまちではお仕事の枠にとどまらず、自分が何になりたいか？自分がこのまちの中でどうふるまうか？それぞれの役割が、まちに新しい発見を与えてくれます。時には、神様だって登場するんです。

お店を決める作業を行っている中で、やってみたいことに「神様」と「物を作る」と書いた男の子のペア。どういうお店を作るか考えますが、なかなかいいアイデアが思い付きません。

そこで、ファシリテーターの大学生から「神様になるにはどうしたらいい？」と一言。この一言を



きっかけに、「神社には神様がいますから、神様を職業にできる。」と考えた2人。さらに、神社といえば、おみくじやお守り売って、それを手作りするということで、物を作りたいという「やってみたいこと」もかけ合わせることができました。他にも、「願い事をかなえるときは1000^{※1}どき！」「お賽銭は100^{※1}どきから！」とたくさんアイデアが出てきて、あつという間に時間切れ。最後にみんなの前で発表もして、今までにはなかった新しいお店を考えることができました。

※1「どき」は、北区こどものまち専用通貨の単位です。

text 一すずな

こども会議通信

Vol.02

2019.1.10

19のお店と各店長が決定。

12月22日(土)、第2回こども会議を行いました！まちのコンセプトや出店するお店など、まちの全体像について話し合いました。

▼まちのコンセプトを考える

前回の会議で決まった、北区こどものまちの目指す姿：「みんなが楽しいまち」。今回の会議では、目指す姿をもとに、「楽しいまちってどんなまち？」「まちづくりの中で何を大切にしているか？」について話し合いました。少し難しいテーマでしたが、「まちのルールを守って安心安全に過ごせること」「みんなが笑顔で仲がいいこと」「みんなが自由であること」という3つの目標を大切に

しながら、まちづくりをしていくことになりました。



まちのコンセプトについて、意見を出し合い考え中。

▼まちのお店・店長を決めるワーク

会議の中盤では、まちに出店するお店とそれぞれのお店で店長を決めました。どういうお店をやりたいかアイデアを出した後に、お店の種類を考えながら、似ている

ものを組合せ、最終的に19店舗にまとめました。また、店長を決める際には、一緒に店長をしてくれる人を募集するために、お店の魅力をPRしたり、どういう人に来てほしいのかプレゼンしたりと熱心にやりとりが行われました。

▼お金の単位を話し合う

会議の最後には、今年の「北区こどものまち」で使うお金の単位を考えました。1年目は「ドキ」



たくさんのお金単位が生まれました。

2年目は「どき」。今年も子どもたちから「ドキ」「DOK」「らく」「えん」など：たくさん意見が出てきました。それぞれ代表者がプレゼンをした後に、多数決をすることになり、最終的に「ドキ」に決まりました。



通貨単位について、意見を発表する姿。

▼次回のこども会議について

第3回こども会議は、1月19日(土)に北区役所で開催します。お店づくりのイロハを学んだ後、実際に店がまを考えた、商品づくりを行います。

カイギのカギ

「こども区長の誕生」

まちのお店、店長を決めるワークでは、いろいろなお店のアイデアが出てくる中で、みんなのやりたいことや人数のバランスを考えながら、まちに出店するお店と店長を決めていきます。

最初は大人が進めていたこのワーク。2人のこどもスタッフが司会に立候補してくれました。たくさんのアイデアを前に、どうやって話し合いを進めていくのか、最初は不安でしたが：。そんな心配は無用！2人はみんなの様子を見ながら、丁寧に議論を進めます。例えば、「こどもスタッフ1年目で、しかも店長は1人：」と不

安そうなお店がいたら、他のお店とのマッチング案を提示してみたり。相手の気持ちに共感し、寄り添いながら話し合いをし、最終的に19のお店と、それぞれのお店の店長を決めました。

そんなふうに司会をしてくれた2人のやりたいお店は：「区役所」ということで、これから北区こどものまちの「こども区長」として、まち全体を動かしていきます。なんと頼もしい区長の誕生です。



決まったお店の一覧

「もの」をつくる・うる

- 手芸店・雑貨屋
- アクセサリー屋
- 絵かき屋さん
- 冬物用品店
- 駄菓子屋・映画館
- 10均
- コンビニ

「サービス」を提供する

- カフェ
- お化け屋敷
- あそび場・イベント
- ヘアアレンジ
- 星占い
- 射的

「情報」を伝える

- 新聞屋

「公的機関」

- ハローワーク
- 税務署
- 銀行
- 区役所
- 警察

こども会議通信

Vol.03

2019.1.29

お店づくりが、始まりました。

今日は約30人の子どもたちが集まりました！今回の会議では、お店づくりの一大イベント、お店の看板を制作しました。



どんなお店になるでしょう。

▼前回のふりかえり

今回も、まず全体で前回の振り返りをしました。こどものまちの「コンセプト」やまちにどんなお店をつくるのかを思い出しました。会議が3回目ということで緊張も解け、みんな堂々と発表していました。

▼コミュニケーションゲーム

チームでの作業に移る前に、子どもたち同士が仲良くなれるゲームをしました。自分が好きなものと相手が好きなものを言い合って、一致したら1ポイントゲットできるゲーム。その名も「おんなじおんなじゲーム」。2人1組になって30秒間でどれだけポイント獲得できるか競い合いました。「アイスは好き？」「猫が好き？」「夏が好き？」等、たくさんさんの質問が飛び交っていました。1回目は9点が高得点でしたが、次第にみんな要領をつかんできて3回目には13点も取るチームがいるなど、とっても盛り上がりました。

▼デザインワークショップ

続いて、子どもたちがそれぞれのお店の看板を作るために、デザイン案を下書きしました。「どんな看板にするとお店に入ってもらいやすいか？」など相談しながら看板づくりを進めていきます。



看板のアイデアを相談しながら、下書きをします。

▼店舗の看板作成

下書きをもとに、助っ人に来てくれた大人と一緒に看板に色を塗りま



刷毛を持って、ペンキで看板を仕上げていきます。

した。ウインターショップのお店では、雪のイメージを作るためにハケで白色の絵の具を降りかけていました。ペンキで色を塗る時、文字を描く時など、あまり失敗できない場面でも大人と協力し、大胆に作業を進めることができました。

▼次回のこども会議について

第4回こども会議は、2月2日(土)に北区役所で開催します。まちの中での店の配置と、お店で販売する商品やサービスを考えます。

おみせの準備室

「看板づくり、はじめました。」

子どもたちが思い思いに考えて言葉を添えてみたり、お店の名前から連想できるものをイラストにしてみたりと、一生懸命作業に取り組む姿が印象的でした。ちなみに、子どもたちの最近の流行は虹のイラストで、たくさんさんの看板に虹が描かれています。

text 大谷大学 赤澤ゼミ みゆき

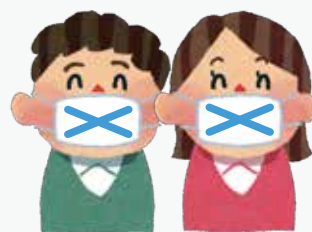
「区役所」



他の看板よりも目立つようにカラフルなデザインと、看板の真ん中には区役所という堅いイメージからスーツの男の人が描かれています。

カイギのカギ

「マスクのおとな」



店舗の看板づくりは、子どもたちだけで進めるのは大変な作業の1つ。そこで今回は大人の力を借りてみることにしました。でも、こどものまちの主役は子ども。そこで、参加する大人に向けて、3つのルールを用意しました。

その1 「X」マークのマスクを着用すること！
大人は子どもに口出しできません。なので口にはXマークのマスクを。

その2 大人から話しかけないこと！
分らないことがあっても子どもには話しかけちゃダメ。子どもと話していい大人はサポートする大学生だけ。

その3 子どもの「指示書」どおりに色塗りをする！
大人は子どもの指示を守ること。勝手に解釈してはいけません。

最初は大人が子どもに口出ししてしまうかと心配でしたが、作りこまれた指示書から必死に色やデザインを読み取ったり、指示していた色が違うと指摘を受けたり、大人の方がタジタジになる場面も…。

「税むしょ」



おにぎりのような白い円の中に四角があるイラストは、お金の五円玉をイメージして描かれています。

「警察」



男女の警察官のイラストや、「安心・安全・事故防止」のフレーズがひと目で警察の看板だとわかります。

「ときめき星占い」



“恋愛運”というキーワードからハートがメインで可愛らしいデザインで描かれています。

こども会議通信

Vol.04

2019.2.18

商品づくりで大忙し。

2月2日(土)第4回こども会議が開催され、34人の子どもたちが集まってくれました。今回の会議の目標は、お金(ドキ)の流れとお店と店の関係をつくることです。

▼前回のふりかえり

まちのコンセプトを、区長さんに続いてみんなで音読しました。久しぶりに集まったからか、少し恥ずかしそうにしながらも、しっかりと音読していたのが印象的でした。



コミュニケーションゲームの様子。

▼コミュニケーションゲーム

前回と同様に2人1ペアになって、好きなもの、嫌いなものが同じであれば1ポイント獲得し、ポイントをできるだけ多く獲得する「おんなじおんなじ」ゲームをしました。活動に入る前にコミュニケーションゲームを行うと、空気も明るくなり、子どもたちの笑顔も多くなりました！

▼商品を考える

「自分のお店でどのようなことをすれば、まちのコンセプトに近づけるのか」、「自分の理想のお店にするためには何が必要なのか」等を考える時間。まず、自分のお店に必要なものを考えた後、配られ



素材を見つけて、商品をつくっていきます。

たこどものまちオリジナル通貨「ドキ」200ドキ分を使って、商品を作るために必要な材料を「おとなファクトリー」から購入しました。どのお店の店長も、色々な材料がある中、真剣に選んでいました。

▼お店の配置を決める

お店の代表者が集まり、似たもの同士のお店が集まった方がいいのか、バラバラにする方がよいの

かなどを考えながら、配置を決めていきました。区長さんの進行で、意見を出し合い、みんな納得したお店の配置が決まりました。

▼次回のこども会議について
第5回こども会議は、2月16日(土)に北区役所で開催します。区長から一言！「次のこども会議で最後になるので、風邪など引かないように、元気に来てください！」との注意がありました。いよいよ、こどものまち当日まであと少し、次回で、まちの仕組みやお店で売れるものや内装などが決まります。発展途上のまちなので、工夫のしがいがあって、みんな合いが十分です。



大学生ともディスカッション。

おみせの準備室

「お店の配置を考える」

今日の会議では、各店舗の代表が集まって、まちのどこにお店を配置するのか、話し合いました。話しを進めるのはこども区長。去年のお店の配置も参考にしながら、公的機関は6店舗まとめて1階の部屋に、コンビニや10均などの一般の店舗は一番大きな「メイン会場」へ配置することになりました。ここまではスムーズに決まったのですが、困ったのが映画館とお化け屋敷。どちらのお店も暗がりの中で運営するのは同じですが、1つの部屋を区切って2店舗にしてもいいのか、別の配置にするか悩んでいました。映画館の「周りの音が気にならないようにしたい。」という意見と、お化け屋敷の「外から



の光が入らないようにしたい。」という意見がぶつかりました。お互いにアイデアを出してみるものの、なかなか意見がまとまりません。そこで他のお店にも事情を話して、最終的にはそれぞれの店が1部屋貸切で使えるように譲り合うことになりました。

スタッフの準備室

こども会議も当日まで残すところあと2回。それぞれのお店では商品づくりが本格化しています。そこで、今どんな商品やサービスを作っているのか、お店のPRポイントなどをこどもスタッフに聞きました。



お化け屋敷のPRポイントは「ストーリー仕立ての世界観。『Jエロの日記』という子どもたち自身が考えた物語に沿って進んでいくようで、ただ暗くして驚かすだけではなく、お客さんがより一層楽しめるようにと趣向をこらしています。

アクセサリ屋さんでは「女の子だけではなく、男の子も楽しめるお店」にすることを目標にして商品づくりをしています。女の子に向けたアクセサリだけでなく、男の子向けのキーホルダーも用意して、来た人みんなが楽しめるような工夫を考えているところです。その他にも、2つ以上の商品を買った割引の制度を作ってみたりして、自分たちのお店をどう楽しんでもらうか一生懸命考え中です。

こども会議通信

Vol. 05
2019. 2. 20

最後のこども会議を開催。

完成目前、今年はどんなドキドキ・ワクワクが待っているのか楽しみです！2月16日（土）に第5回のこども会議が開催されました。

▼コミュニケーションゲーム

今回のコミュニケーションゲームは、「どっちが好きかゲーム」をしました。1人ずつにテーマが書かれた紙が配られ、そのテーマについてグループの人達と話し合うゲームです。例えば、お題が「レストランとバイキング」であれば、「私はバイキングが好き、なぜなら・・・」とみんなに自分のことを知ってもらうように言います。そして今回もゲームを通して子どもたちの元気な姿が見られました。

▼オープンマイク

こどものまちのお金の流れについて復習した後に、新聞社を担当する子どもから「お店の取材をしにいくので協力してほしい」というアナウンスがありました。

▼お店・商品を考える

今日が本番前最後のこども会議のため、みんな一生懸命に完成を目指して作業に取りかかっていた。おとなファクトリーから必要な物を購入したり、どんな商品を作るのかを話し合っていたりしました。徐々に商品が完成に向かい、私たちの目にも何が作られているのか分かってきました。ここからどのように発展するのか、当

日が楽しみです。

▼まちのルール共有

公的機関（区役所、税務署、警察署、ハローワーク、銀行）から「まちのルール」の確認をしてもらいました。銀行（利子の金額）と税務署（出店料とバイト料の払う時間帯）のルールについては、こどもスタッフから少し意見が出され、一時保留となっていました。その後の話し合いの結果、改善されみんなの納得を得ました。大事なことがみんなの話し合いで決まっていくのはいいことですね。

▼当日に向けた確認

2月23（土）・24（日）がいよいよ本番です。準備ができるのは、当日の朝のみとなりました。会議の最後に、当日に向けた最終チェック



商品づくり也大詰めです。

をして、こどものスタッフのみなさんが、まずは北区こどものまちのコンセプトである「自由に遊べる、安心安全、笑顔で仲良く」を守って楽しい2日間を過ごすことを約束しました。こども区長からも「インフルエンザや風邪が流行っているので、予防をしっかりとって当日来てください」との一言がありました！

text 大谷大学赤澤ゼミのり

おみせの準備室

お店の商品を考える時間では、みんな当日に向けて一生懸命準備を頑張っていました。今回は、射的屋とあそび場の様子について紹介します。

●射的屋

射的といえば、おもちゃの銃で景品を撃ち落とすのがよくあるやり方ですが、弾が当たっても景品が倒れないことがあるようで…。そこで、紙コップに景品の名前を書いて、倒した紙コップの景品がもらえるという仕組みにするなど自分たちなりに創意工夫していました。また銃を人に向けたり、弾を人に当てたりしないように射的を楽しむルール作りも。冗談で人に当てた場合は罰金をとるなど、安全に射的を楽しめるようにしていました。

●あそび場

あそび場では、ボーリングや輪投げ、ゴム鉄砲などができます。輪投げでは、大小違う大きさのリングを作り、小さいリングを使って入れることができます。景品がもらえるなど、よりゲームを楽しめるルールを作っていました。また、入場料で10ドキ支払わないといけないので、入場のお礼にシールをプレゼントしてお客さんがより来てくれる工夫を考えていました。

他のお店もそれぞれ工夫を凝らして作業していて、今回のこどものまち本番で、みんなのお店がどうなっていくか楽しみです。

text 大谷大学赤澤ゼミひとみ

カイギのカギ

「まちのお約束!」

今回のこども会議では、公的機関のこどもスタッフが、まちのルールについて、みんなに共有しました。まず、こどものまちの税金について、お店をする人が税務署に出店料とアルバイト賃金の合計800ドキを先に払うことになりました。でも、手元にお金がないと支払えないと考えた子ども達は、分割して徴収することにしました。

また、銀行からは、貯金と借金のルールが発表されました。みんなとの話し合いの結果、今年は貯金制度は無しになり、借金については60分ごとに10%の利子をつけることになりました。

次に、区役所からは、ドキのない人でも参加できるイベントの開催や、1回10ドキでお願いごとができる「お願いBOX」の設置についてお知らせがありました。また、働く時間の上限を4時間に設定し、1時間は必ず休憩というルールも



発表されました。

警察からは「注意しても聞かなければ罰金5ドキ」、「万引きや強盗などといった罪を犯したら10ドキ」を徴収することや「まちのための募金」を募り、受け付けた募金の半分は区役所に、残りの半分は困っている人に渡すルールが発表されました。

最後に、ハローワークから、1人20分ずつの単位で、仕事を提供することが発表されました。これは、まちに来てくれた子どもたちみんなが職業に就けるようにと、子どもたちの優しさが溢れたルールです。細かい点まで、みんなでルールを検討し、共有をすることで、良いまちづくりに繋がると実感しました。

text 大谷大学赤澤ゼミすずな

こども会議通信

Vol.06

2019.3.12

こどものまちなを、ふりかえる。

▼第6回こども会議の様子

3月2日（土）、今年度最後のこども会議を実施しました。第1回のこども会議からちょうど3ヶ月。今回の会議では、3ヶ月のことで楽しかったこと、大変だったこと、そして来年に向けてのメッセージをみんなで共有しました！



ふりかえり会の様子。

▼こどものまち当日を振り返る

まず最初に恒例の「おんなじおんなじゲーム」をしました。スタッフも参加し、ふりかえりに向けて気分を高めました♪

ゲームの後は、お店ごとに集まって、当日のまちについてふりかえりをしました。売れた商品や売れなかった商品は何か、お客さんに売る時の工夫などを書きだして話し合いました。また、もし来年も同じお店があったらということ、来年の店長へのアドバイスやメッセージも記入しました。

お店単位での振り返りの後は、こどもスタッフ全員でまち全体に

ついて意見やアイデアを共有しました。「こどものまち」らしさってなに？これからのこどものまちなをどう創っていく？という難しい話題に対しても、白熱した議論が交わされていました。



ふりかえりシートをまとめた冊子を受け取ります。

▼みんなで寄せ書き

会議の最後には、ここまで一緒にまちを創ってきた仲間に感謝を伝えあいました。お店ごとに担当



みんなでメッセージを寄せ書きしました。

の大学生からこれまでの会議のふりかえりシートを受け取った後、寄せ書きページにメッセージを書きあいました。

メッセージを書く時は、少し照れくさそうでしたが、みんなそれぞれ「ありがとう」の気持ちを伝えることができたようです。

▼みんなお疲れ様でした！

今年度の「北区こどものまち」は、これにて終了です。こどもスタッフの皆さん、大学生の皆さん、準備期間から本当にお疲れ様でした！

カイギの力

「こどものまちならしさ」ってなに？

今年のまちは、「おとなのまち」っぽくて、「こどものまちならしさ」が少なかった！そんな意見から始まったこの議論。

確かに、今年で3回目のイベントなので、税金の仕組みや働いたためのルールが少し複雑になってきている一面もあって、低学年の子どもたちにとっては難しい部分があったかも…。

でも一方では、まちの仕組みが整うことで、「おとなのまち」に近づいているとしても、まちが発展してきていることなのでいいと思うという意見も出てきたり。

議論は白熱しますが、子どもたちの思いは同じ。「北区こどものまち」は子どもたちのま

ち。そのまちの仕組みを考えるのは自分たち自身で。だから自分たちのまちのことをちゃんと理解したい。例えば税金の使い道について、みんなが納得できるように話し合いをしたい！

議論の最後に、来年のこども会議では今年以上に子どもたちがまちの仕組みやルールを考える時間を多くとることを確認しました。来年はもっともっと考えるぞ！！

議論の最後に、来年のこども会議では今年以上に子どもたちがまちの仕組みやルールを考える時間を多くとることを確認しました。来年はもっともっと考えるぞ！！



「みんなで寄せ書き」

こどもスタッフのみんなが過ごす時間も、あとわずかになってしまいました。これまでの「こども会議」の終わりに書いてきた、会議のふりかえりシートや本物の区長さんからのメッセージ、これまでのプログラムの一覧などを綴じた冊子が、自分のお店を担当してくれたチャイルドフアシリテーターの大学生からこどもスタッフ一人ひとりに手渡されました。

ここからは、こどもスタッフと大学生、区役所の職員が一緒になって寄せ書きづくりの時間です。こどもスタッフの仲間たちと作った思い出やこどものまちでの良かったこと、楽しかったことなど、自分たちのそれぞれの思いがたくさん溢れたオリジナルの冊子が作られて良い記念になったと思います。



北区こどものまち

- | 主 催 | 北区未来につながる区民会議、北区役所
- | 運営協力・会場提供 | 大谷大学
- | 協 力 | おとなパートナー
- | W E B | 京都市北区 HP「北区民ふれあい事業」
http://www.city.kyoto.lg.jp/kita/category/88-10-0-0-0-0-0-0-0.html
- | Facebook | ニコニコ北っ子「北区こどものまち」

実施概要

日 時	2019年2月23日（土）11:00—16:00 ・ 24日（日）11:00—16:00
会 場	大谷大学4・5号館
参加人数	
こどもスタッフ	40人
こどものまち当日参加者	348人／1日目:162人 2日目:186人
チャイルドファシリテーター（大谷大学文学部教育・心理学科）	35人
広報チーム（大谷大学文学部社会学科赤澤ゼミ）	9人
おとなパートナー	10人

スケジュール

10.16（月）—31（水）	こどもスタッフ募集期間
12.02（日）	第1回こども会議 @北区役所
12.22（土）	第2回こども会議 @北区役所
1.19（土）	第3回こども会議 @北区役所
02.02（土）	第4回こども会議 @北区役所
02.16（土）	第5回こども会議 @北区役所
01.15（火）—02.05（火）	参加者募集期間
02.23（土）	北区こどものまち1日目 @大谷大学
02.24（日）	北区こどものまち2日目 @大谷大学
03.02（土）	ふりかえり会 @北区役所

ドキ（こどものまち通貨）



新規出店券



参加者募集チラシ



こどものまちのいろいろ

こどもスタッフ募集チラシ



区民証



北区こどものまち 報告書

2019年3月

発行 京都市北区役所地域推進室
〒603-8511 京都市北区紫野東御所田町33-1

写真 大谷大学赤澤ゼミ、北区役所、井上智治

編集 I/NO [井上智治]



発行年月：平成31年3月 京都市印刷物第303291号

© 2019 Kita Ward Office, City of Kyoto. All rights reserved.